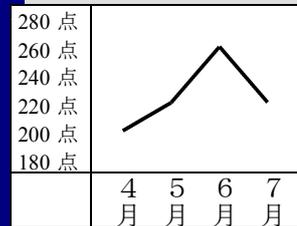




♪ テストが続きます。

昨日は3年生のみ実力テストでした。来週には全校で中間テストです。テスト続きである意味大変だとは思いますが、皆さんの先輩方もくぐり抜けてきた関門です。くじけず頑張ってください。また、中間テストが終われば、皆さんが楽しみにしている修学旅行が待っています。それを励みにしてほしいものですね。

さて、「なぜそんなにテストをやるの?」と疑問に思っている人もいるかもしれませんが。その答えは、「その時点での学力がどれくらいなのかを知るため」です。例年、95パーセント以上が高校進学を希望しており、今年度もほぼ同じ数字になると予想されます(近々、一回目の進路希望調査を行います)。担任の先生方は、1・2年生の頃よりも具体的かつこまめにT&Sの時間や皆さんの家の方を交えての三者面談などを行い、皆さんの進路相談に応じていきます。その際に参考になるのが、その時点の皆さんの学力です。担任の先生方は、「あなたは××高校が第一志望だけど、例年の傾向としては、もう〇〇点ぐらい取れないと厳しいでしょう。」「君は△△点ぐらい取れているので、第一志望の□□高校は、かなりの確率で合格できます。」といった具体的なアドバイスをします。



また、実力テスト系は毎月行います。その結果をグラフに表すことで、「上り調子で頑張っているね。このまま継続しよう。」とか「ここ最近、伸び悩んでいるけど、あきらめずに頑張ろう。」といったみなさんの細かい変化に対応することもできます。

さて、実力テスト系に関しては、当日欠席した場合、次の日以降に別室での受験はさせません。高校入試でも同じです。入試当日、具合が悪くなったの欠席ではなんの救済措置もとってくれません。厳しいようですが、世の中というのは、そういうものです。体調管理の大切さを学んでください。

♪ 進路情報。

高等学校の課程

前号までで高等学校の設置者による違い(公立高校/私立高校)などを説明しましたが、今回から、課程(学習の仕方や登校時間など)による違いを説明したいと思います。



高等学校の課程は主に以下の3種類です。

① 全日制課程

もっとも一般的な課程で、生徒は朝に登校し、夕方まで授業を受けます。授業は基本的にクラス単位で行われます。放課後は部活動があり、皆さんが小中学校で過ごしてきた学校生活のリズムとあまり変わりません。近隣のほとんどの高校が、この課程を設置しています。

② 定時制課程

元々は、働きながら高校卒業の資格を取りたい人のために設置された課程です。したがって、全日制と比較して、授業時間が短いのが特徴です。その分、基本的には卒業に4年間かかります。部活動に参加することも可能です。

③ 通信制課程



学ぶ意欲がありながら、様々な事情で全日制や定時制の高校に進学できない人などのために、働きながら、または家庭にいながら学ぶための課程です。自宅学習が中心で、学校によりませんが、月2~4回程度の登校日があります。

次号以降、それぞれの課程についてさらに詳しく説明していきたいと思えます。